

6-2. ハイラスト地区住民インタビュー調査

6-2-1. ケース1 ハイラスト地区「ゲル地域平均的世帯」 (世帯収入 60,000 トゥグ/月)

1) 家族構成 家族数2人

| 家族員 | 年齢 | 職業収入等 |
|-----|-----|--|
| 夫 | 41歳 | 運転手。トラックを所有しており商売関係の運転手をしている。50000~60000トゥグ/月。就業時間は普段は午前8時から午後10時、一ヶ月行つたきりのこともあれば、3日くらい家にいることもある。運転の必要があればどこへでも行く。 |
| 妻 | 40歳 | 自宅 |

2) 収入と支出

| 家計内訳 | | 金額Toz |
|----------|--------------------------------|--------|
| 収入 | 父親 50,000~60,000Toz/月 | 60,000 |
| 支出 | | 62,000 |
| 食料品 | | 19,500 |
| 小麦 | 15kg | 7,500 |
| 野菜 | 月2~3kg | 2,000 |
| 肉 | 月5~10kg | 10,000 |
| その他 | | |
| 水、光熱費、電話 | | 40,500 |
| 上水 | 1日30L使用。60L/回 30Toz×15回=500Toz | 500 |
| 燃料 | 燃料は薪を利用 10月から4月で10トン | 20,000 |
| 電気代 | | 5,000 |
| 電話 | 電話携帯2台 | 15,000 |
| その他 | | 2,000 |
| ゴミ処理 | | 2,000 |
| ラジオTV | | |
| 教育費 | | |
| 洋服 | 季節ごとにまとめて買いする。10万Toz程度 | |
| 備考 | 貯蓄はなし。 | |

3) 職業や収入について

■職業

- ・就職したいと思うが、条件的に採用されることは難しい。
- ・自分は元々運転手で、民主化の時に政府からトラックを支給された。
- ・奥さんは列車の車掌をしていた。現在は無職。

■収入と支出。生活上の困難について

- ・収入は生活に足りていない。100000~150000トゥグあれば良いと思う。
- ・支出は年々増えている。食べ物を始め物価が上がっている。

4) 住宅、敷地について

■住宅敷地の概要

- ・ハシヤーの面積は 30m × 20m モンゴルゲル 3 夏住宅 1

■住宅の使い方、住み方

- ・一日中奥さんは家にいる。
- ・季節でゲルと夏住宅に住み替えるとき、家具を全て移動する。
- ・同じハシヤー内に妹家族、弟家族のゲルがある。来年の春から弟が来ることになっている。

■住宅の改築、改善の意向

- ・このハシヤーで建物をつくって生活していくことを考えている。アパート住宅は欲しくても買うことができない。
- ・ゲルから住宅に住み替えたいと思う。ゲルは雪や風の天候の影響を受け、季節毎に仕様を変える必要など、手間が大変である。住宅の方が部屋が広く、暖かい。ゲルは外で暮らすことと変わらない。
- ・住宅建築の費用は来年夏になってから少しづつお金をためようと思っている。お金を借りても返せるかどうかわからないし、貸してもくれないと思う。
- ・トイレは 75 年にここに住んでから 2 回作り直した。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・75年にウランバートルへ徴兵されて出てきた。兵役終了以来ここで生活している。購入時の値段は500トゥグだった。当時の物価は大卒の年間の給料が800トゥグ程度だった。
- ・父母は630km離れたバヤンオンゴル県におり、親戚、兄弟の多くがそこで暮らしていた。来年の春から弟が来ることになっている。兄弟全て出てくることになる。
- ・田舎では仕事がない。市場の仕事や、子供の勉強のため、みなこちらに来たがっている。

5) 暮らし方について

■家事の分担

- ・炊事、洗濯、掃除、家にいる奥さんの仕事で、水や燃料は夫が持ってくる。だが、夫も家にいれば手伝う。(訪問時、夫がハシヤー内の掃除をしていた。)

■上水

- ・入浴は週に1度程度。近く入浴できる場所があれば良いと思う。
- ・洗濯は毎日のようにある。洗濯機はぜひほしい。水を買ってくることは問題ない。

■電気

- ・電気は利用量も電気代も上がっている。去年は月4000トゥグだったが今年は5000トゥグ必要になっている。
- ・最近買った電化製品は扇風機、テープレコーダー。これから買いたいものの一番は車だが、電化製品では洗濯機を買いたい。
- ・停電は毎日のようにしている。

■ごみの処理

- ・冬場はゴミは月に2回持っていってもらう。薪の灰が主でドラム缶で2本捨てている。

■石炭

- ・ゲルの中にあるストーブは自分で作った。燃料は薪で、一度木をくべると24時間は燃えている。薪は石炭に比べ空気の汚れが少ない。

■自動車

- ・現在のトラックは民主化に伴い、会社から支給されたもの。古くなっており、修理に金がかかる。今の車を売って新しい車を購入したい。自動車の用途は仕事目的。トラックではなく、タクシーの運転手をしたいと思っており、今度は乗用車の購入を考えたい。トラックの仕事は5月～10月の期間だけで、冬の間の仕事がない。

■余暇、娯楽

- ・本は好きで、友だちに借りたり、買ってきたりしている。
- ・夏の時期は月に1、2回旅行に行く。両親のいるバヤンオンゴル県や、ホブド県、アルハンガイなど環境の良い場所に行く。
- ・映画や演劇は冬場に、月に2回くらい行く。市内にでることが楽しみということはなく、近場にそのような場所があれば良いと思う。

6) 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・奥さんが盲腸になり、救急車を呼んだことはある。20分ほどで来てくれた。
- ・病院は年に1回いくかどうか。奥さんは2～3回行く。

■安全

- ・電線や火を使うことによる火事は起らないと思うが、11月に近所で2つの隣接したハシャーが火事になった。
- ・犬がいるので泥棒の恐れはない。

■コミュニティ

- ・近所の人とはよくつきあい、互いの家を行き来する。ゲルの世話などは友だちや親戚に手伝ってもらう。近隣の住宅の作業などを手伝ったり、地区で協力して掃除をすることもある。地区の掃除は区の管理者の要請に応じて手伝っている。
- ・特に人が集まる場所はないが、地区のことを話し合うときは管理事務所を使っている。

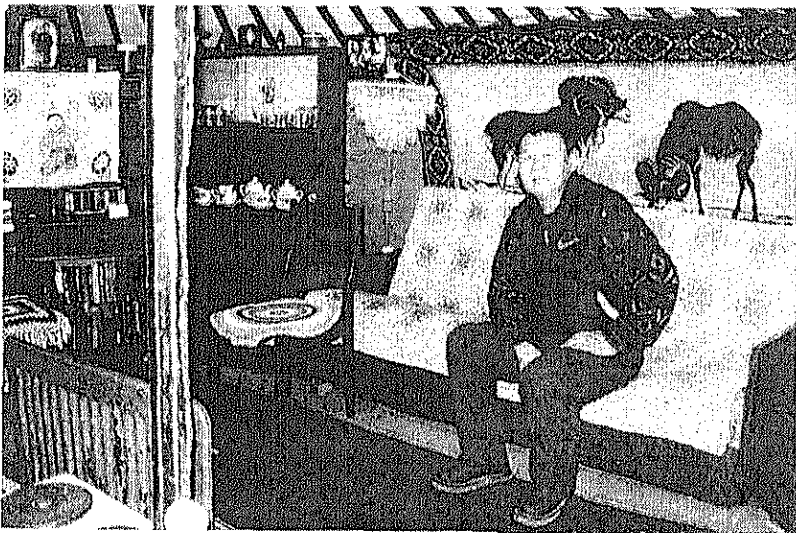
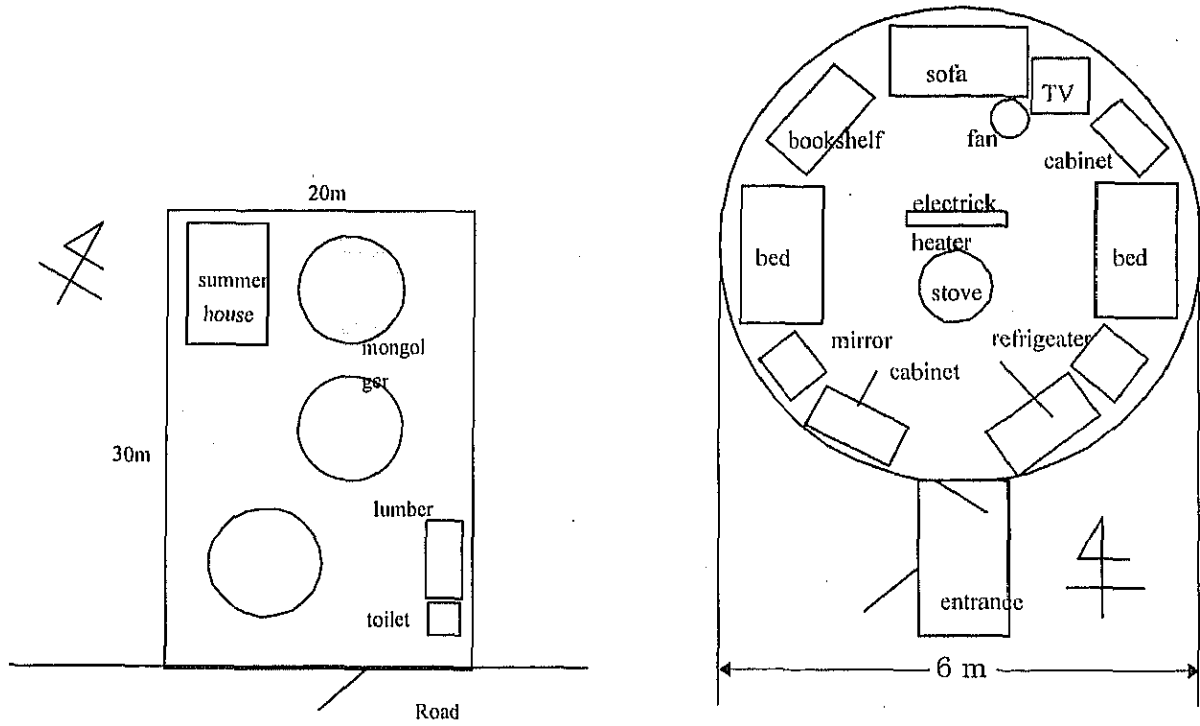
■公園、緑

- ・ハシャーの中に野菜を植えている。山の斜面地で石が多く、木がうまく育たない。

7) 地区の改善について

- ・地区改善の第一は道路整備。地区の中心と結ぶ道路があればよい。
- ・地区住民で協力して街灯をつけるなど、管理費用については理解するし、他の住民も理解すると思う。

Hailaast case1 (middle class1)



6-1-2. ケース2 ハイラスト地区「中流以上の家庭」
 (世帯収入 150,000～180,000 トウグ/月)

1) 家族構成 家族数 4人

| 家族員 | 年齢 | 職業収入等 |
|-----|-----|--|
| 父親 | 38歳 | 専門学校の建築講師4000トウグ×2回/週×4=32000トウグ。トラックを持っており、運転手を頼んで商売をしている。朝4時に家を出て、市から250kmの距離にある炭坑のあるシャリングルから石炭を買って次の日の朝に戻ってくる仕事。月10万トウグの収入。普段は朝7時から午後6時の仕事。 |
| 母親 | 32歳 | 地区管理事務所で就業 4万トウグ/月 |
| 子供 | 10歳 | 中学校3年生 授業は午後1時から5時 |
| | 8歳 | 中学校2年生 授業は午前8時から12時 |
| 甥子 | 18歳 | 市内の大学に通うため、姉から預かって同居している。朝 |

2) 収入と支出 (月当たり)

| 家計内訳 | | 金額Toz |
|----------|--|---------|
| 収入 | 父親 100000～132000Toz/月 母親 40000Toz/月 | 150,000 |
| 支出 | | 151,600 |
| 食料品 | | 80,000 |
| 小麦 | 20kg | 10,000 |
| 野菜 | 月10kg (じゃがいも、玉ねぎ、にんじん) | 5,000 |
| 肉 | 月10kg (冬の時期は田舎から) | 10,000 |
| その他 | | 35,000 |
| 水、光熱費、電話 | | 34,600 |
| 上水 | 60Lの容器2つに溜めておく。1日40L程度使用 20Toz×30日=600Toz | 600 |
| 燃料 | 冬場5トンまとめて買う。11万トウグ | 20,000 |
| 電気代 | 夏5000トウグ、冬3000トウグ | 4,000 |
| 電話 | 携帯電話3 (夫、母、妹の子) -3ヶ月に1度、携帯のカードを買うのに3台で30000トウグかかる、家の電話1 計30000～40000トウグ | 10,000 |
| その他 | | 57,000 |
| ゴミ処理 | ごみ、テレビ、ラジオ、ハシヤの税金 | 2,000 |
| ラジオTV | | |
| 教育費 | 子供2人に10000トウグ程度。妹の子供の教育費は母親が国の仕事をしており、お金がかからないが、交通費、食事代で毎日1000トウグ渡す | 30,000 |
| 洋服 | 季節ごとにまとめて買う。冬用 10月に子供2人20万トウグ、妹の子供 14万トウグかかる。夫や自分のものはなかなか買えないが、今年は11万トウグで自分の服と靴を買おうと思っている。 | |
| 生活雑貨 | 洗剤 1kg 石鹸3、4つ 手と顔を洗う石鹸 5つ | 5,000 |
| 備考 | 銀行口座は持っていないが、20万トウグ程度の現金は持っている。新年の準備に60万トウグ用意する予定。 | |

3) 職業や収入について

■職業

- ・夫は以前建設エンジニアをしていた。その知識を生かして専門学校講師をしている。商売に専念したほうが収入はあがるが、専門的な知識を維持していくために講師の仕事が続けている。夫は韓国に1年間出稼ぎにいったが、飛行機代と現地の生活費にしかならなかった。
- ・自分は商業系の大学と工業系の大学、2つの大学で学んだ。その後、行政の勉強を学んで、現在の地区管理者の仕事についている。
- ・将来的に管理事務所の近く（地区の中心）のハシヤーを買って商店をつくり、質屋などを始めたいという考えはある。本当は市内にアパートを購入して、専門を生かした仕事ができればもっとも良いと考えている。

■収入と支出。生活上の困難について

- ・家族4人では問題がないが、客が多く、食費につかうお金が大きい。プレゼントをあげる必要が多いことなどから支出が大きい。
- ・現在の収入では、お腹がすかない、寒くはならないというところまで。子供が大きくなるについて支出が大きくなり、将来の生活のことに心配がある。
- ・自分の子供には周りの子供に見劣りしない食事や洋服を買ってあげたいと思う。
- ・夏の時期、子供が田舎に行く3ヶ月の間の生活費をためて冬に備える。

4) 住宅、敷地の概要

■住宅敷地の概要

- ・97年に170万トゥグで現在のハシヤーと建物を購入。
- ・ハシヤーの面積は20×30mの600㎡。建物は5×10mの冬住宅が一つ、モンゴルゲルが一つ。
- ・住宅の内容-ダイニングキッチンとワンルーム。台所（ペチカ、机、流し台、食器棚、たんす、薪置き場）、部屋（ベッド2つ、テレビ、机、戸棚）
- ・隣のハシヤーを購入し、現在建物を建てている。ハシヤーは20×20m。建築中の建物は5m×10mで3部屋の建物。

■住宅の使い方、住み方

- ・ハシヤー（敷地）の中にあるモンゴルゲルには、ハシヤーを持っていない世帯主が34歳の家族5人に住んでもらい、親がいない間子供の面倒をみてもらっている。この辺りは泥棒が多く、子供たちだけでは心配がある。親戚ではないが、73歳のおばあさんが良く家の面倒をみってくれる。

■住宅の改築、改善の意向

- ・住居は購入して2年たった。修理したい箇所はあるができない。
- ・隣接したハシヤーは自分たちのものであり、住宅を作っているが資金がたりずに中断している。現在建てている建物はこれまでに300万トゥグほどかかり、あとは内装工事に100万トゥグほどかかる予定。お金の関係でいつ終わるか分からない。
- ・現在使っているトイレは83年につくったものだが、深くつくっているのもまだ使えている。古くなっているので作り直したいとは思っている。トイレの近くには街灯をつけている。トラックを売って建物とトイレを整備することも考えた。子供たちは7歳ころまで家の中で用を足していた。小さいころはトイレの外で用をたして、親があとで片付けていた。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・97年にダルハンのアパート住宅から現在の居住地に移転してきた。
- ・この場所に居住した理由は夫の母親の妹(おばさん)が学生の時生活していたこと
- ・住居は購入して2年たった。修理したいところはあるが資金が足りずできない。
- ・ザウホンに住んでいる祖父がゾドで家畜を無くし困っている。家が完成すれば自分たちは新しい家に住み現在の建物に祖父を住ませる予定である。
- ・今後の生活場所はとりあえず隣接のハシャアの建物になるが、将来的にハシャアで暮らしたいとは思わない。できれば市内中心のアパートに暮らしたいと思う。これから先、子供達にここで暮らしてほしいとは思わない。

■ウランバートル市に居住した経緯

- ・母方の両親は500km離れたブルガンに居住している。父親の出身は1200km離れたザウホンから。両親は大学でウランバートルに出てきて、知り合い、その後ダルハンに国から行かされた。
- ・自分たち夫婦もウランバートルで大学時代に知り合い、その後夫の仕事の都合でダルハンに暮らしていた。ダルハンには両親のアパートがありそこで生活していた。
- ・ダルハンは工場の町で仕事の給料が安く、自分(母親)がウランバートルで勉強を始めた97年に60万トゥグで2部屋のアパートを売り、車を買って一家で出てきた。
- ・ダルハンではアパートに生活していたので、生活自体はゲル地区より暮らしやすかった。ダルハンに仕事を得られれば戻ることもできるが、子供の勉強や仕事のこと、医療環境など考えるとウランバートルでの生活になる。

5) 暮らし方について

■家事の分担

- ・上水は夏場は子供たちが、冬は寒いので週末に母親か父親が買いに行く。炊事、洗濯、掃除は母親がしている。

■上水

- ・入浴は週に1回程度。父親母親は地区の共同浴場で、妹の子供は親戚のアパートで、子供は家でお湯を使っている。近くに安い共同浴場があれば毎日でも入りたい。
- ・洗濯は子供が小さいので毎日必要。洗濯機が必要になっている。
- ・上水販売所は200mの距離にあり、そこで水が手に入れられなければ400m離れた上水販売所に行く。

■電気

- ・電気は使う量は変わらないが、電気料金がどんどん上がっている。最近買った電化製品はドライヤー。これから欲しいものは洗濯機、アイロン(古くなっているので買い替えたい)
- ・停電は月に2回程度。テレビが見れないという程度でそれほどの問題ではない。
- ・電線の発火については気にしていない。ペチカには子供たちが近付かないように言い聞かせているので問題はない。

■ゴミの処理

- ・ゴミは普通月に1回だが、冬の時期は特別にお願いして週に1度持っていってもらう。ゴミは冬場は石炭の灰が中心で、ドラム管に溜めている。

■石炭

- ・大量に石炭を使うと子供たちが目をいためることがある。

■自動車

- ・97年に乗用車を初めて買った。仕事の関係でトラックに買い替えた。車庫はないが、トラックだと問題はない。

■余暇、娯楽

- ・田舎の両親の家で夏の時期過ごすことは楽しみ。子供は夏の時期3ヶ月、両親は2週間を過ごしている。
- ・映画や演劇は冬の時期に6、7回行く。昨日も行ってきた。夫婦で行くことも多い。正月の時期には5、6箇所回ることもある。子供たちが田舎にいるときに夫婦でゆっくりする。

6) 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・冬季、地区の中心に石炭の煙りがかなり溜まる。
- ・これまで何回か救急車を呼んだことがある。はしかや盲腸、母が倒れたときに呼んだ。ここまでは車が入ってくることが大変なこともあり、救急車がくるまで3~4時間かかったりするので、母が倒れた時は自分でタクシーを都合して病院に行った。13地区や3地区の病院に連れていくが、タクシーならここから15分で行く。
- ・地区にいるかかりつけの医者年に一度くらい家族を診てもらっている。病院や薬にかかるお金は、病気になればしかたがないので、そのことで行かないようなことは考えない。

■安全

- ・場所的に山の上であり、1977年に大きな洪水で下のほうの家は流されたと聞いた。ここは山の手なので大丈夫だった。
- ・地区内に泥棒が多い。この家も2回どろぼうに入られた。親は特に心配はないが、18歳の女の子が遅くなった時は迎えに行くようにしている。

■利便性

- ・道路状況が悪く車が入って来にくい。特に冬場は道が氷り、給水車が近くの販売所までこれない。

■コミュニティ

- ・互いの家を行き来するほどの関係ではない。電話があるので、電話を借りに来る人もいる。
- ・地区の掃除を共同で行うことがある。
- ・近所の人顔は管理事務所で働いていることもあって良く知っており、知らない人がうろうろしていれば気がつく。

■教育

- ・子供の教育は、住宅づくりなどより一番に考えている。今は大学を出ても仕事を得られるかどうか分からない時代なので、専門的な知識をつけさせることが必要であるとともに、人間的にも成長させたいと考えている。

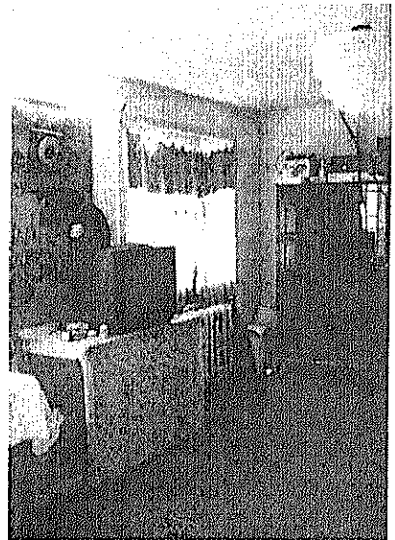
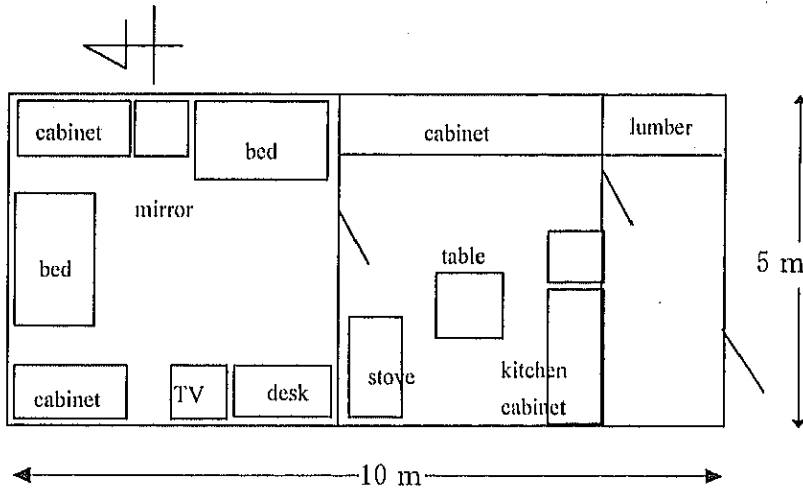
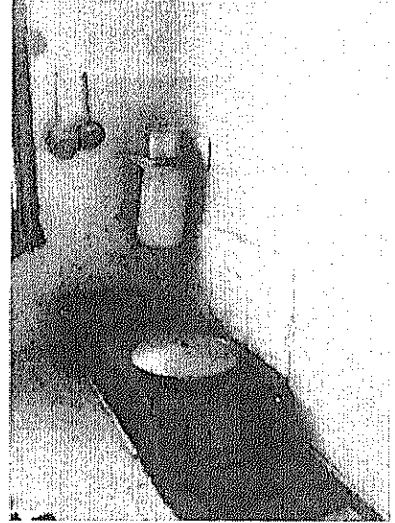
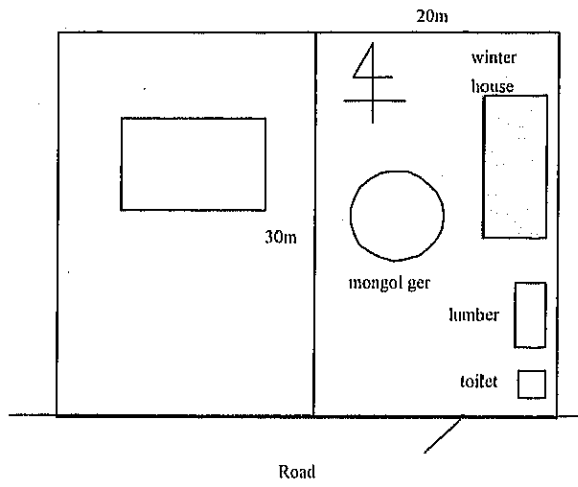
■公園、緑

- ・自分の末の弟家族が近所に住んでいて、ハジャー（敷地）の中で一緒に遊んでいる。
- ・地区内に緑がすくなく、つまらないと思う。しかし、石の多い土壌で花が育たないという難しさがある。

7) 地区の改善について

- ・この地区には車が通れる橋がなく生活が難しかった。そこで各世帯からお金を集めて橋をつくることにしたが、なかなか理解を得ることが難しかった。各世帯から500トッグを集めたが、対象となる世帯の15%だけがお金を出してくれた。出せない世帯もあるが、出せるのに出さない世帯が多い。
- ・このような共同での改善事業や掃除を行うときは、初めに管理事務所で話し合い、ヘセグダルカ（区の管理者）を通じて、ときには地区の住民をよく知っている人などに多少のお金を出してお願いすることもある
- ・このように地区の管理費用を理解してもらうことは困難で、子供にさとすように説明する必要があるように思う。
- ・これからの地区の改善の内容は、バス停までの舗装道路、街灯の設置が第一。上水やバス停へのアクセスの向上が必要。

Hailaast case2 (middle class2)



6-2-3. ケース3 ハイラスト地区「中流以上の家庭」

(世帯収入 135,000 トゥグ/月、仕送り 100～120万 Toz/月)

| 家族構成 | 家族数 | 職業収入等 |
|------|-----|---------------------------------------|
| 父親 | 52歳 | 商業経営 まだ開店したばかりで利益はわからない。就業時間 朝8時から夜9時 |
| 母親 | 50歳 | 無職 年金 16000トゥグ/月 |
| 長男 | 21歳 | 農業 20000トゥグ/月 |
| 4女 | 16歳 | 中学生 |
| 孫 | 7歳 | 保育園に通園していたが肝炎で療養している。 |

2) 収入と支出

| 家計内訳 | | 金額Toz |
|----------|---|------------------------|
| 収入 | 商店の粗利益30万Toz。利益の一部10万Toz程度を生活費に確保し余剰は商売にまわす。長男の農業20000Toz。母親の年金16000Toz。 (韓国で働く娘たちからの仕送り100～120万Toz/月) | 135,000 (1,000,000) |
| 支出 | | 116,000 |
| 食料品 | | 30,000 |
| 小麦 | 小麦粉 30kg/月 | 15,000 |
| 野菜 | 野菜はほとんど食べない。 | |
| 肉 | 肉は自活 | |
| その他 | | 15,000 |
| 水、光熱費、電話 | | 70,500 |
| 上水 | 1日30L使用。60L/回 30Toz×15回=500Toz | 500 |
| 燃料 | 石炭 4部屋の住宅にボイラーから温水をまわしている。住宅分は10トン/年、商店分は20トン/年 | 50,000 |
| 電気代 | 商店込み5000トゥグ 夏場は電熱調理器を利用するが田舎に行くのでそれほど問題はなかった。 | 5,000 |
| 電話 | 電話は無線電話があり、月15000トゥグかかる。電話を引いてもらえるよう88年に頼んだが未だにつかない | 15,000 |
| その他 | | 15,500 |
| ゴミ処理 | ゴミ(商店込み) 5500トゥグ/月 | 5,500 |
| ラジオTV | | |
| 教育費 | 教育費は本や文房具で年間10万トゥグ程度 | 10,000 |
| 洋服 | 洋服は季節の変わり目に子供たちに買う。冬に入る前に21歳の子に7万トゥグ、16歳の子に10万トゥグの服を買った。 | |
| 備考 | 貯蓄-少ない貯金はあったが、現在はない。急にお金が必要になったときには子供に頼るしかない。7歳のまごには韓国の親から色々なものを送ってくれる。 | |

3) 職業や収入について

■ 職業

- ・市内に家畜を飼っている。夏場はソングヌハイルハン地区に、冬場は家の下に牛を10頭つれてきている。ゾドで多くの家畜を失った。現在は長男が農業に従事している。

- ・商店は先月開店したため、どの程度の収益が見込めるかわからない。月10万Tozの収益を見込みたい。先月は商店の粗利益が30万トゥグほどであった。ここから仕入れ、光熱費、人件費を出して、残りが純利益となる。娘婿が中心になって商店経営をしている。商店の開店準備に土地だけで91000Toz、建物と準備で1000万Tozかかった。商店は2人雇用している。現在6種類の商品の営業許可を貰っているが、アルコール販売の許可を新たに取りたい。個人商店では扱えないので会社形式にした。1月からは酒類も扱える見込み。
- ・韓国で3人の娘が夫とともに働いており、100万から120万トゥグ/月の仕送りがある。孫の保育費はもちろん、現在の住居や商店の建築も手伝ってもらっている。
- ・民主化以前は運転手をしていたが、民主化以降、運転手の仕事はなくなった。60歳まではたらきたいが、働き口はない。奥さんは23年間保育園の先生をしていた。扶養してくれる家族があり、40歳を超えた人は退職しなければならなくなった。その代わりに年金が入っている。

■収入と支出。生活上の困難について

- ・支出が年々倍増するように増えていくように感じる。

4) 住宅、敷地について

■住宅敷地の概要

- ・ハシヤー面積は30×30mの土地に10×8mの住宅1、5×8mの商店1
- ・斜面地なので住宅の1階部分はかさ上げし、隙間に冬場家畜を飼っている。

■住宅の使い方、住み方

- ・玄関脇にボイラー、階段上がってすぐの場所にキッチン、部屋はダイニングキッチン、子供部屋、寝室、客間の4部屋
- ・家具はダイニングキッチンに机、食器棚、子供部屋にベッド、寝室は洋服たんす、ベッド、客間にふとん、テレビ

■住宅の改築、改善の意向

- ・昨年2000年に現在の住宅をつくった。建築費用は1500万トゥグ（商店込み）建築会社ではなく、地区内で住宅建築をしている業者をお願いした。
- ・モンゴル国では、雨、風、雪、天候の変化をそのまま受けるのでいつも世話をしなければならぬ。普通の住宅はその心配がないことが一番よい。住宅であれば上水、下水、トイレだけがアパート住宅と異なる。
- ・2階に夏用の部屋をつくることと、トイレを水洗にして家の中に設置することを予定している。水洗トイレは水のタンクをつけ、地下に土壤浸透させる形を考えている。予算は200万トゥグ程度を予定している。
- ・韓国から子供たちが帰ってきてても子供達の何人かはここで暮らすことになると思う。そのために増築を考えたい。
- ・トイレは3mの深さに掘ってあり、10年間使える。夏に薬を撒いたり、水を十分にあげて土壤浸透させる。水や薬など手間をかけなければいけない。電燈をつけたいと思っている。子供が小さいときの心配はあるがなれなければ仕方がない。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・1983年からハイラストに居住、70年、18歳の時に市内に出てきて以来、30年以上ウランバートルで生活している。
- ・祖父もウランバートル出身で、親戚もみなウランバートルに居住している。

- ・自分のハジャー（敷地）がなく、ここを購入した。自分はゲル地区の生活になれており、家畜の仕事ができるという理由からも今後もここで生活していくつもりでいる。
- ・子供たちは今から子供を持つことになる。お湯、水、安全なトイレが必要で、子供たちはアパートで暮らしたほうがよいと考える。

5) 暮らし方について

■家事の分担

- ・家庭内の仕事は、水汲みが21歳、16歳の子供、炊事・洗濯は母と娘が分担する。

■上水

- ・上水販売所は200mほどの場所にある。冬場家畜が日に300Lの水を飲む。
- ・子供たちは週に1回、入浴している。自分たち夫婦は2週間に1回程度である。公共浴場の値段は高いと思う。また家の仕事でなかなか行けないという事情もある。
- ・洗濯は毎日、掃除も日に何回もする。洗濯は大変なので洗濯機を買いたい。水はタンクを取り付け、月に一回車で持ってくるような方法を取りたい。

■電気

- ・電気の利用量も支払い金額も増大している。
- ・これから欲しい電気製品は、冷蔵庫（76年に購入したものが故障）、洗濯機（以前あったが娘の家にあげた）、冷凍庫（商店に利用したい）

■ごみの処理

- ・ゴミは月に一回出しているがなかなかとりにこないことが問題。石炭から出る灰は一回当たりドラム缶200kgが10本も出る。

■石炭

- ・石炭は買ったところから持ってきてもらう。火事や事故の危険はいつも心配している。いつ火事になってもおかしくないので、小さい子供だけにはさせられない。
- ・石炭の煙りで目や咽をいためることは子供だけでなく、大人にもある。

■余暇、娯楽

- ・夏場ソングヌハイルハン地区に行って、家畜の世話をすることは休養でもある。家族全員ではなく順番で行く。以前は夏場7日から10日ほど家族で旅行に行っていたが、時間がなく、ここ2年ほど行っていない。
- ・映画や演劇は好きで年間10回ほど夫婦で連れ立っていく。流行のものが出ると行きたくなる。子供たちは子供達で行っている。

■自動車

- ・トラックは91年に運転手の仕事をやめる時に買った。古い車で部品が少なくなり、修理が難しくなっている。車が必要な一番の理由は生活上の必要から。家畜の世話や移動のために必要である。

6) 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・公害というほどの場所はないが、夏場のトイレの臭いが気になる。
- ・救急の時には救急車を呼ぶが無線電話があるので問題はない。孫が肝炎になって呼んだ時には30分ほどで来た。
- ・病院には父親が年に2回ほど検査に行く程度。母親は今年には行っていない。

■安全

- ・泥棒が多い。去年テレビをとられた。10日前に無線電話を家にあげた人にとられた。16歳の子供は暗くなって帰ってこなければ家族が迎えに行く。

■コミュニティ

- ・近所の人顔は分かるがそれほどいったりきたりする仲ではない。お金はないが、石炭などの貸し借りはある。
- ・住宅の建築などで人が必要な時はお金を払って雇う。近所の掃除はいつも自分ではするが、近所の人はいない。

■教育

- ・21歳の息子は8年生中学卒業までで、大学の受験資格がない。農業の仕事の人手が足りないこともあり、今は農業に従事している。
- ・16歳の娘はどうしても大学に行かせたいと考えている。住宅の改築費用よりも娘の教育費用を優先する。
- ・8歳の子供は肝炎にかかっており、大体家の中で遊んでいる。
- ・田舎に行くと近所の子と遊んでいる。

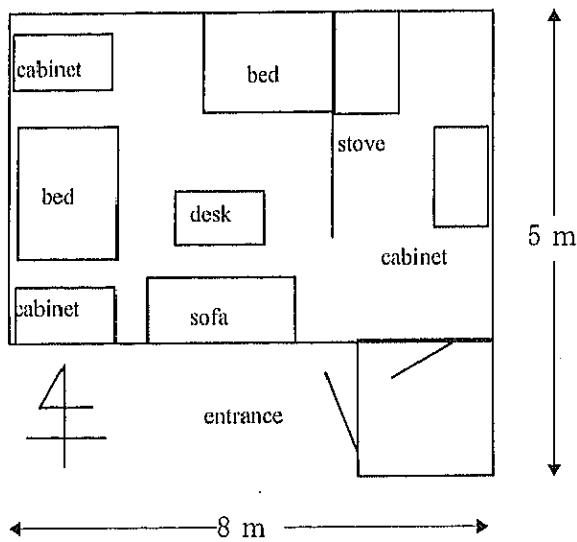
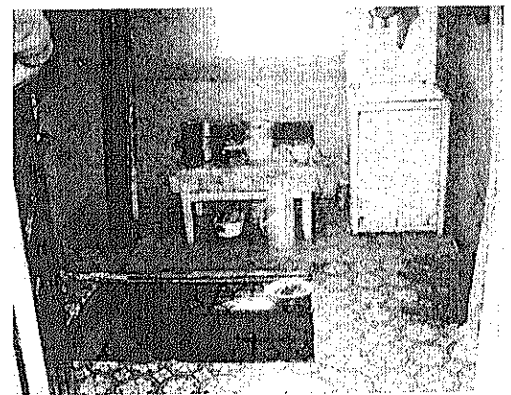
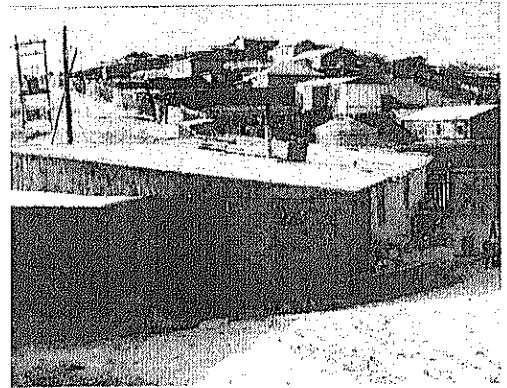
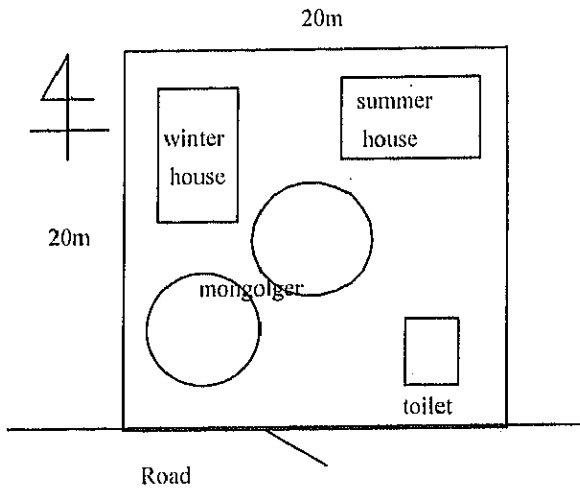
■公園、緑

- ・地区内に緑が少ないと感じる。土地はあるので、木や花は世話が大変で無理だが、野菜は植えたいと思っている。

7) 地区の改善について

- ・バス停から1kmあり、地区の中央に出るための道路を一番に整備してほしい。
- ・地区管理費用の負担については自分は理解するが、ほとんど協力しないのではないかと。協力しないのは個人の問題でどうすればよいか難しい。ただ、一部がゴミの回収費用を払わないことで地区全体の回収が滞ったり、電気料金を払わないことで、地区全体の電気が2日間止められたりと、地区全体に迷惑がかかることはいえる。

Hailaast case3 (upper class)



6-3. ダンバダルジャー地区住民インタビュー調査

6-3-1. ケース1 ダンバダルジャー地区「困窮世帯」(世帯収入 18000 トゥグ/月)

1) 家族構成 5人

| 家族員 | 年齢 | 職業収入等 |
|-----|-----|--------------------------------|
| 母親 | 44歳 | 無職 |
| 長女 | 21歳 | 高卒、職業なし |
| 次女 | 17歳 | 中学校6年生で退学 |
| 長男 | 15歳 | 中学校6年生で退学、耳が悪いこと、文房具が買えないことが理由 |
| 次男 | 13歳 | 中学校4年生 |

2) 収入と支出

| 家計内訳 | | 金額Toz |
|----------|--|--------|
| 収入 | 父親がなくなり、片親で一番下の子供が18歳になるまでという条件で国から生活費を補助してもらっている。夏場子供達が山から松の実を拾い売って生活費の足しにしている。 | 18,000 |
| 支出 | | 18,000 |
| 食料品 | | 16,000 |
| 小麦 | 小麦粉 4kg/週 2000Toz×4週 | 8,000 |
| 野菜 | じゃがいも 少し | 1,000 |
| 肉 | 内臓 2kg/週 1000Toz×4週=4000Toz | 4,000 |
| その他 | | 3,000 |
| 水、光熱費、電話 | | |
| 上水 | 上水は近くの川の水を使用している。 | |
| 燃料 | 冬場に使う薪は夏の時期に子供たちが山で集める。昨年度石炭の支給があったが、本年度はない。まきを暖房の燃料にしている。 | |
| 電気代 | 現在払えず滞納している(8000Toz) | |
| 電話 | | |
| その他 | | 2,000 |
| ゴミ処理 | 月に1500~2000トゥグかかり、9月にきたきりである。 | |
| ラジオTV | | |
| 教育費 | | |
| 洋服 | 自分で買うことはない。人に譲ってもらう。 | |
| 備考 | | |

3) 職業や収入について

■職業

- ・病院で5年間病人の世話をしたのち、85年に保母の勉強をして、13年間保育園で仕事をしていた。保育園の廃止とともに職を失う。
- ・テレビや新聞、知り合いのつてなどから仕事を探しているが、年齢的に新たに職を得ることが難しい。

■収入と支出。生活上の困難について

- ・長女が働いていたときは30000トゥグの収入があり、生活補助の18000トゥグと加えて48000トゥグの生活費があったため、それほど生活に困難はなかった。

4) 住宅、敷地について

■住宅敷地の概要

- ・ハシャー（敷地）の面積は30m×20m。ハシャーの中にはモンゴルゲルが一つのみ。
- ・現在のハシャーの居住権は自分のものだが、モンゴルゲルは友人から借り受けているものである。

■住宅の使い方、住み方

- ・ときどき、15歳の子供が近くでつかまえてきた鳩から孵ったひよこを市場に売りにいく程度でほとんどみんな家にいる。

■住宅の改築、改善の意向

- ・できれば建物に住みたい。モンゴルゲルは季節が変わるごとに、フェルトを取り替えたり、床を持ち上げたりと面倒が多い。
- ・トイレはハシャーの中に穴を掘っていっぱいになれば埋めて新しく掘り直す。川が近く、1mもほると水がでてきてしまうので、浅くほり、子供たちが月に何度か作り直している。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・以前は市内南西のヤルماغに居住していた。エルデネットに4年間居住した後、98年に現在の場所に来た。
- ・エルデネットには親戚がおり、ゲル地域に住んでいた。エルデネットのゲル地域にも電気はきていた。エルデネットでは住民の許可をとっておらず、仕事をみつけにくく、ウランバートルでは市場の仕事など子供たちの就業の機会が多いことから、ウランバートルに来た。職業をみつけるためや、生活する上で地方よりもウランバートルは便利だと感じる。
- ・これからの居住場所は、お金があれば市内のアパートに居住したいが、できなければここで、建物をたてて生活したい。
- ・子供が望めばこのハシャー（敷地）で一緒に生活していきたい。結婚すれば、ゲルを増やして、ハシャーの中で別々に暮らす。

5) 暮らし方について

■家事の分担

- ・家庭内の仕事は水汲みに15歳か13歳の子供がいく、炊事、洗濯は母と次女が主にしている。

■上水

- ・上水は近くの川から汲んで使っている。1日に食事やお茶に約30L、その他食器や掃除に使うため合計80Lは使う。夏場は川の水ではなく地下からのわき水が近くにできるためそれを使う、冬場は近くに上水の販売所があればよいと思う。
- ・風呂は家の中でお湯を使う。家族みな週に1度程度は体を洗う。
- ・洗濯は3日に1度。せっけんがある時にまとめて洗う。

■電気

- ・家にある家電製品は電燈とテレビ程度。ここ最近購入した電気製品はない。電線が悪く、火災事故の恐れは感じる。

■ごみの処理

- ・紙や袋の燃えるごみはハッシャーの中で燃やす。ごみの回収はごみ処理の車に月に1度きてもらっているが、処理費が払えず3ヶ月回収していない。去年は近くのゴミ捨て場に捨てていたが、今年は石炭も燃やさないため、今年は灰もでない。

■石炭

- ・去年はホローから石炭の支給があった。今年は知り合いに貰った薪で暖をとっている。石炭や薪の煙りでのどや目をいためることはある。部屋の中にほした洗濯物が黒くなるのと同じと思う。

■余暇、娯楽

- ・旅行や文化的な余暇の過ごし方は全くない。

6) 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・近所にごみ捨て場が去年まであり、ごみが散乱していた。
- ・病院にはほとんど行かない。今年は子供がコールという病気にかかり、2~3回いった。救急車を呼んだことはない。重い病気にかかったことはなく、病院代や薬代を気にしたことはない。

■安全

- ・川は近いが、今のところ家まで川の水があふれたことはない。道路がぬかるんで車が通れないことはあった。緊急事態があれば隣の家から連絡できると思う。
- ・この辺であまり犯罪の話はきかない。酔っぱらいは多く心配もあるが、なれてしまった。

■コミュニティ

- ・隣近所にだれが住んでいるかよくしっており、よく付き合っている。共同して行う作業は特にならない。

■利便性

- ・買い物には500mくらいの場所に商店があるのでそれほど困難を感じない。

■教育

- ・子供は大学まで行かせたいが、無理だと思う。15歳の子供はよく勉強ができたのだが、耳が悪く残念に思う。
- ・学校までの距離が遠く、暖かい服を買ってあげられないので寒いときに心配がある。文房具を買えない時に子供たちの学習意欲が低くなる。

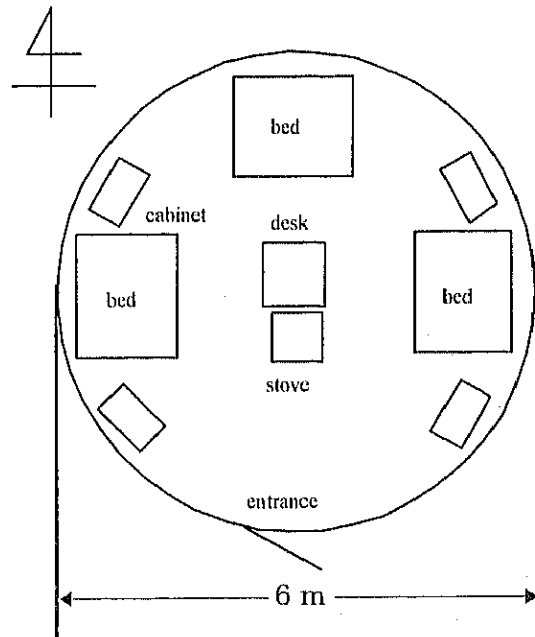
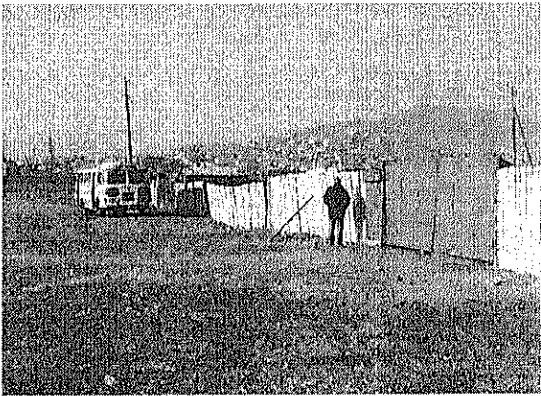
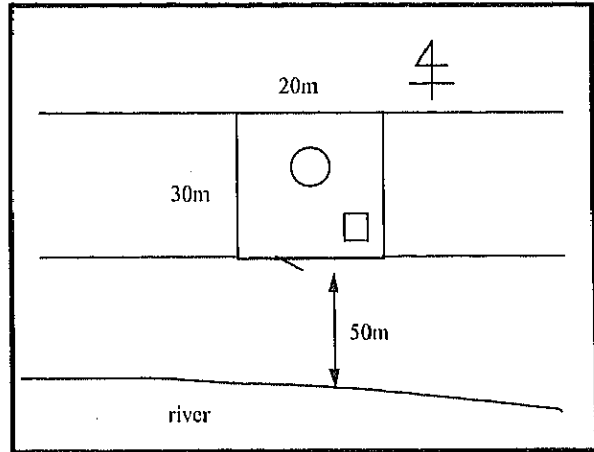
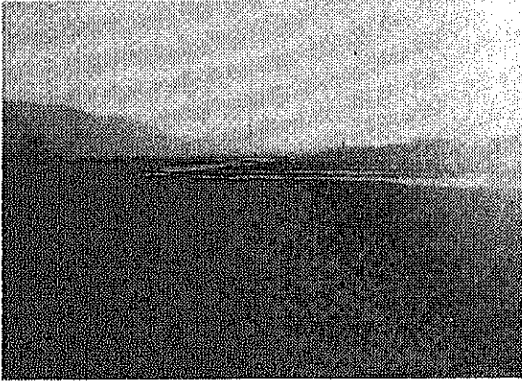
■公園、緑

- ・近所の子供たちとはよく遊んでいる。川の近くで遊ぶことが多い。夏場は泳いだり、冬場は氷ですべったりという遊び方で、心配はあるけれども遊びを禁止するほどではない。
- ・一時期ハッシャー(敷地)の中で野菜を作っていた。ハッシャーの中に緑をつくることは興味があることで機会があればぜひ試したいと思う。

7) 地区の改善について

- ・ハッシャー(敷地)の近くにゴミを捨てていく人がおり、近所の人とごみを処理したいと思っている。
- ・地区内に緑が少なく夏に子供達と過ごせるような公園があるとよいと思う。

Danbadarjaa .case1 (Lower class)



6-3-2. ケース2 ダンバダルジャー地区「ゲル地域平均的世帯」

(総収入 100,000 トゥグ、2世帯同居、50,000 トゥグ/月)

1) 家族構成 家族数 ハンシャー(敷地)内21人、自宅建物内11人

| 家族員 | 年齢 | 職業収入等 |
|------|-----|--|
| 祖父 | 85歳 | |
| 父親 | 49歳 | 電気修理業 自宅就業 20000~25000トゥグ/月 |
| 母親 | 44歳 | 中学校教師 地区内中学校 就業時間午前8時~午後7時 46000トゥグ/月 |
| 長女 | 15歳 | 地区中学8年生 |
| 次女 | 12歳 | 地区中学5年生 |
| 父親の弟 | 42歳 | レストラン勤務 一日おき24時間勤務 30000トゥグ/月 |
| 弟の嫁 | 41歳 | 無職 |
| 弟の子 | 25歳 | 無職 |
| | 19歳 | 市内の10年生中学卒業後、技術大学への進学予定 |
| | 12歳 | 地区内中学4年生 |
| | 8歳 | 地区内中学1年生 |

2) 収入と支出

| 家計内訳 | | 金額Toz |
|----------|--|---------|
| 収入 | 父親20000~25000Toz/月、母親46000Toz/月、父親の弟30000Toz/月 世帯収入計 100000Toz | 100,000 |
| 支出 | | 119,600 |
| 食料品 | | 48,000 |
| 小麦 | 30kg/月 | 15,000 |
| 野菜 | 野菜3~4kg/週 週2000Toz×4=8000Toz | 8,000 |
| 肉 | 肉20kg/週×4週 20000~30000トゥグ | 25,000 |
| その他 | | |
| 水、光熱費、電話 | | 45,600 |
| 上水 | 40L/日 30日×20トゥグ =600トゥグ | 600 |
| 燃料 | 50kg×5袋/週=250kg/週 1000kg/月 | 30,000 |
| 電気代 | 8000~11000Toz | 10,000 |
| 電話 | 携帯電話 | 5,000 |
| その他 | | 26,000 |
| ゴミ処理 | 月2000Toz | 2,000 |
| ラジオTV | | |
| 教育費 | 800Toz×5人=4000Toz | 4,000 |
| 洋服。雑貨 | | 20,000 |
| 備考 | 貯えはなく、急にお金が必要になれば、質屋や親類からの借金に頼るしかない。 | |

3) 就業や収入について

■職業

- ・個人営業で電化製品の修理をしているが、2001年12月から個人営業者への税金が高くなり、月20000トゥグが一律上乘せされた。売り上げに対する税金6000トゥグと加えると、26000トゥグとなり、税金が売り上げを超えてしまう。
- ・個人では割に合わないので就業も考えるが、40歳をこえると新たな就職口はない。収入をあげるために、サービスの場所を広くして仕事をひろげたい。10月から3月までは冷蔵庫の修理がないので特に仕事が少ない。

■収入と支出。生活上の困難について

- ・現在の収入では生活に足りないし、子供が大きくなるに従って支出が大きくなっている。
- ・現在の一月の最低収入の基準が18,000トゥグ、国の基準では24,000トゥグとなっている。これに家族数をかけた程度の収入が適正収入だと思う。

4) 住宅、敷地について

■住宅敷地の概要

- ・中央県バエンからここに5年前に移転してきた。ハシャーの購入費用は450,000トゥグだった。
- ・20m×20mのハシャーに夏住宅1(11人)、冬住宅1(長男家族3人)、ゲル2つ(弟家族4人、奥さんの生徒で両親のいない世帯家族3人)

■住宅の使い方、住み方

- ・家で仕事をしており、祖父も家にいるため、一日中誰か家にいる。
- ・5m×4mの部屋にベッドが3つ、机、たんす、テレビが置かれている。
- ・祖父はほぼ一日休んでいる。日中は作業場や子供の勉強に利用、夜は11人で一部屋で眠る。ベッドは祖父、4人の子供、父親と子供一人が使う。ほかは床にふとんをしいて眠る。

■住宅の改築、改善の意向

- ・住宅は現在の建物を広くしたいと思っている。兄弟家族や子供たちのとの世帯の分離があれば、ダンバダルジャーの中で、新たにハシャーを確保したい。
- ・トイレの汚物は夏はそのまま地面に浸透させ、冬はごみと一緒にすてている。祖父がトイレで足を滑らせて手の骨を折った。今後改築できれば家の中に設置し、水タンクをつくり、水洗式にしたい。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・地方で電気製品の修理をしてもお金にならない。お金がないといって、物で支払う人もいた。パンなどの食料品も市のほうが安い。必要な物品が手に入るなど生活面でも市のほうが暮らしやすい。
- ・また子供たちの教育面で、ウランパートルであればコンピューターや外国語を習う機会があり、将来のことを考えて移転した。
- ・95年に自分の家族が来た後、97年に弟家族が、99年に兄夫婦の家族が移転してきた。地方に残っている親戚もこちらにきたがっているが、市に移転するために必要な許可費用が足りないので出て来れない状態。
- ・ゲル地域は居住の費用が安いということと、ダンバダルジャーは空気がよいという理由ですんでいる。周囲の人達に仕事を教えてここで仕事を大きくしたいと思っている。

5) 暮らし方について

■家事の分担

- ・水汲みは家にいる子供たちが行く。母親が土日に洗濯、掃除をまとめてする。他の日は手が空いている人が家事をしている。

■上水

- ・上水販売所は近くにあり、子供がたくさんいるのでそれほど問題を感じない。
- ・入浴は週に1回程度。家の中でお湯を使うこともあれば、市内にいる親類のアパートで入浴することもある。洗濯は週に1回程度まとめて洗う。

■電気

- ・電化製品は93年にプリティカを買ってから何も買っていない。テレビと冷蔵庫は買い替えたいと思っている。新しく欲しい電化製品は洗濯機。
- ・電気のことは詳しいので、電線からの発火などの心配はない。子供たちが小さい時は常に火に近付かないように注意していた。

■ごみの処理

- ・ゴミは月に一回2000トウグで持っていってもらっている。

■石炭

- ・石炭は500mほど離れた商店から50kgごとに購入する。重いので男性が買いに行く。

■余暇、娯楽

- ・夏は週に1度位ハシャーの中の親類とともにサンザイという保養場所に行く。
- ・映画や演劇には95年から行っていない。近くで安い場所があればぜひ行きたいと思う。

6) 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・医者には年に子供も祖父もそれぞれ2~3回程度いく。
- ・父親に持病があり、定期的に通わなければならないが、食べるだけで精一杯で、お金が入るそばから使ってしまうので、通うことは難しい。

■安全

- ・どろぼうや酔っぱらいは多いが特に危険も感じない。

■コミュニティ

- ・隣近所とはよく付き合っており、生活費や石炭の貸し借りなどがある。

■教育

- ・子供は成績がよく大学に行かせたいが、父母が働いているため奨学金が貰えない。中学を卒業したら働かざるを得ない。
- ・教育環境については特に問題はない。大学に行かせるお金が足りないことが悩み。
- ・両親の仕事のお金だけで住宅を改築し、大学に行かせることはできない。両親の収入は住宅など生活を良くすることに使い、長男が大学にいきたければ自分でお金を稼いで自分でいくというように考えている。

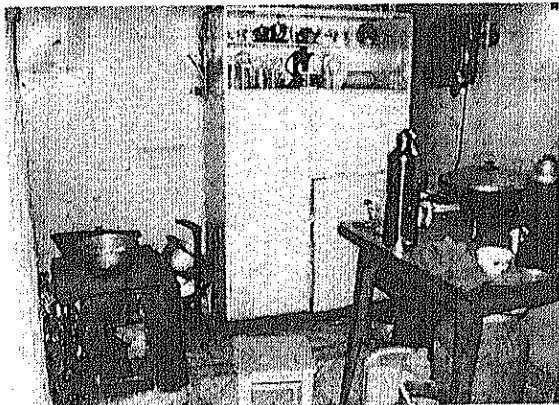
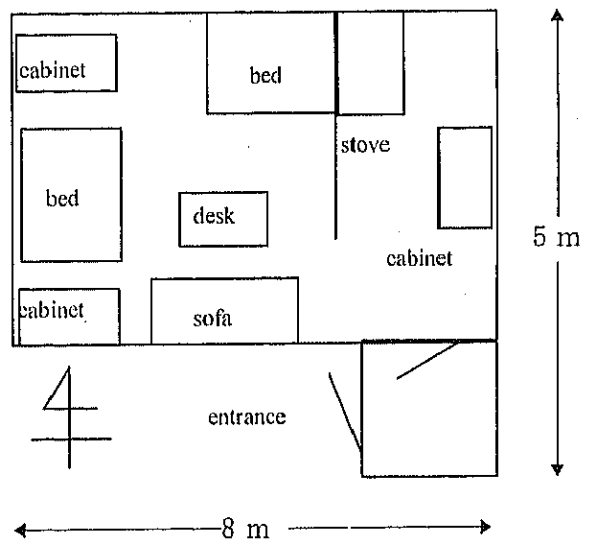
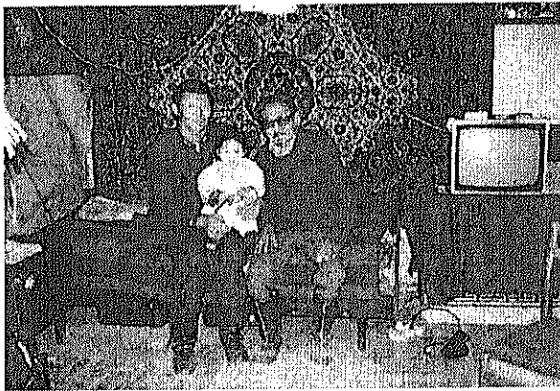
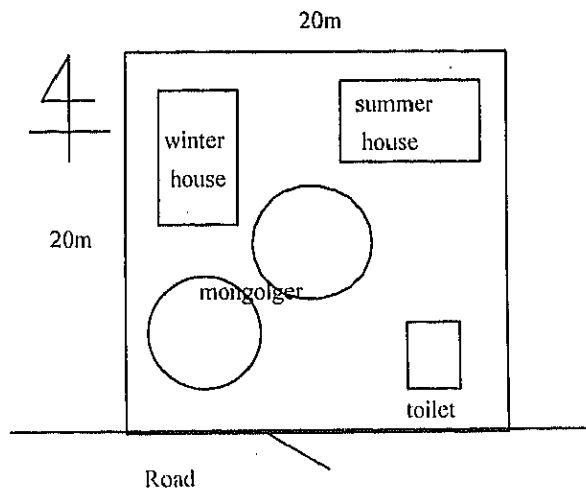
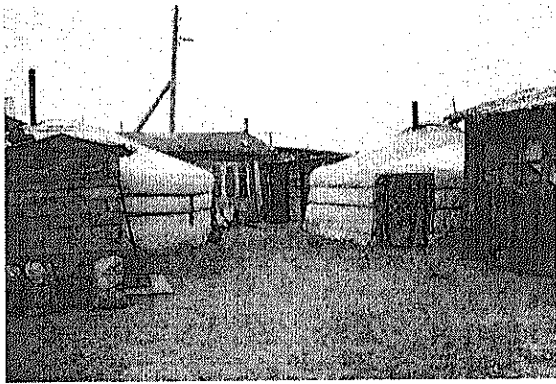
■公園、緑

- ・子供たちは近所の子供たちとハシャーの中や川のそばで遊んでいる。
- ・川のそばによく人が集まる場所がある。
- ・地区に緑が少なくつまらないと思う。敷地の中に木を植えたいとは思っている。

7) 地区の改善について

- ・地区からは石炭を支給して貰ったり、年寄りに年金を出してもらったりと、よいことをしてもらっている。地区に対して自分たちから協力して良くしていきたいと思っている。
- ・地区には子供たちが遊べる場所をつくりたい。

Danbadarjaa .case2 (Middle class)



6-3-3. ケース3 ダンバダルジャー地区「中流以上の家庭」
(世帯収入 150,000 トゥグ/月)

1) 家族構成 7人

| 家族員 | 年齢 | 職業収入等 |
|-----|-----|--------------------------------------|
| 祖父 | 80歳 | |
| 祖母 | 74歳 | |
| 父親 | 50歳 | 貿易会社社長 同区内に事務所がある。収入は100万～180万トゥグの間。 |
| 母親 | 48歳 | 同会社内の薬品部マネージャー 市内にオフィスがある。 |
| 子供 | 21歳 | ロシア留学中 |
| | 18歳 | 国立大学生 |
| | 14歳 | 私立中学4年生 |

2) 収入と支出

| 家計内訳 | | 金額Toz |
|----------|--|-----------|
| 収入 | 世帯収入は平均で150万トゥグ程度で余剰は商売に回す。 | 1,500,000 |
| 支出 | | 337,000 |
| 食料品 | | 200,000 |
| 小麦 | | |
| 野菜 | | |
| 肉 | 肉や乳製品田舎から送って貰う | |
| その他 | | |
| 水、光熱費、電話 | | 135,000 |
| 上水 | 個人の井戸を持っている。余った水は近所の人に譲っている。井戸の近くにボイラーがあり、管理をしている人がお金も同時に管理している。 | |
| 燃料 | 一冬に10トン消費する。300,000Toz/年。月50,000Toz | 50,000 |
| 電気代 | 50,000Toz/月 | 50,000 |
| 電話 | 30,000～35,000Toz | 35,000 |
| その他 | | 2,000 |
| ゴミ処理 | | 2,000 |
| ラジオTV | | |
| 教育費 | 9月の入学時に560万Toz支払う。 | |
| 洋服、雑貨 | 生活雑貨、洋服 貿易をしている関係で中国から安く仕入れる。 | |
| 備考 | 貯蓄は特になし。商売をしているので、必要があればお金をつくることはできる。 | |

3) 職業や収入について

■ 職業

- ・民主化以前は出版社勤務をしていた。90年から少しずつ商売をはじめて、95年から現在の会社をはじめた。仕事をはじめた当初は24時間営業していたが、最近では政府からの指導があり、朝8時～夜9時までの仕事にしている。

■ 収入と支出、生活上の困難について

- ・銀行は以前倒産してお金が戻ってこなかったことがあり信用していない。貯えは資産として所有することになっている。自宅と2台の車、市内のアパート、会社事務所

等あわせると 6300 万トウグの資産になる。

- ・ボルモルという地方に 3000m × 3000m の農場を 60 年の借地権で提供された。借地権は無料でよいので農業をやりたいとのこと。そのためのトラクターを購入したい。できれば海外援助機関からの資金援助を使いたい。

4) 住宅、敷地について

■住宅敷地の概要

- ・ハシヤーの面積は 30m × 20m、住宅建築面積 15m × 5m × 2階建て
- ・一階部分 浴室 (サウナ、シャワー)、トイレ、台所、応接間、祖父、祖母の部屋、子供部屋 1、二階部分 子供部屋、夫婦寝室、かべ裏に食料庫設置。
- ・この住宅は去年、500 万トウグで長男と子供達が協力して建てた。
- ・会社のボイラーから温水を引いて暖房に利用している。

■住宅の使い方、住み方

- ・普段の日中は両親と、お手伝いさんが家にいる。今はお手伝いさんが休暇をとって、親戚の女の子が家事をしている。全員が家に帰ってくるのは 9 時すぎだが、職場と家が近く、電話連絡をとりあっていることでそれほど心配はない。
- ・田舎からよく人がくる。昨日は 13 人も泊まりに来ていた。仕事ではなく遊びに来ている。

■住宅の改築、改善の意向

- ・トイレは屋内に水洗トイレを設置している。水はタンクにためている。汚水は地下に汚水タンクを埋設しており、3ヶ月に1度、1回 8,000 トウグで、バキュームカーを頼み持ってもらう。
- ・新しく住宅を購入したり、建築する時に難しいのは資金の借り入れができる制度がないことである。
- ・子供が結婚したときの同居は考えない。ダンバダルジャーに 2 つのハシヤー、市内に 2 つのアパートがあるのでそちらに移転することになると思う。
- ・ゲルと比べて住宅だと光が多く取り入れられ、部屋割ができる。ゲルだと火が消えると途端に寒くなるが、住宅だと冬の暖房が容易で寒くならないなどの利点がある。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・ダンバダルジャーには 26 年住んでいる。空気がよく、会社をはじめた土地であり、仕事の中心となる場所である。市内にアパートがあるが、父親夫婦は将来もここで暮らしていくことを考えている。

5) 暮らし方について

■家事の分担

- ・家庭内の仕事は父親が 2 日に 1 度 140L の水を車で持ってくる。炊事、洗濯、掃除はお手伝いさんをお願いしている。市内にアパートがあり、洗濯機を置いているので、子供たちがまとめて洗濯を手伝う。

■上水

- ・上水の利用量は多くなっているが、車でまとめて買ってきてタンクにためておけるのでそれほど問題を感じない。
- ・入浴は週に 1 ~ 2 回程度。近くに共同浴場があれば毎日でも入りたいと思う。

■電気

- ・ゲル地区は電気の状況が悪い。(電圧が一定しない、停電する。)
- ・家にある電化製品はテレビ2台、ヒーター、冷蔵庫2台、冷凍庫1台、電子レンジ、コンピューター、洗濯機(市内アパートに設置)等。この住宅内にも洗濯機を置きたい。

■ごみの処理

- ・ドラム管に溜め、月に一回業者に持って行ってもらう。

■石炭

- ・一回に5トン買い、市場で買った人にトラックで持ってきてもらう。

■余暇、娯楽

- ・週末に家族で保養地に行くのはもっとも楽しみ。土日にテントをもって出かける。夏だけではなく、今の時期(10月末頃)も行く。商売をしているので長い期間休むことはできない。全員ではなく、交替で出かけ、家の誰かが留守番をしている。
- ・演劇や映画は興味があるが、行っている時間がない。近くに皆が集まる場所、楽しみを持てる場所があるとよいと思う。

■自動車

- ・現在の車は、2年前に300万トウグで購入したマイクロバスと、荷物を運ぶトラックの2台、乗用車もあるが故障している。近いうちに仕事用のトラックと、トラクターを購入したいと考えている。予算のめどはある。

6) 地区での暮らしについて

■安全

- ・泥棒が多い。よく聞くし、被害にもあっている。昨日の夜も寝ている間に泥棒に入られ、庭においてあった車の部品を持っていかれた。

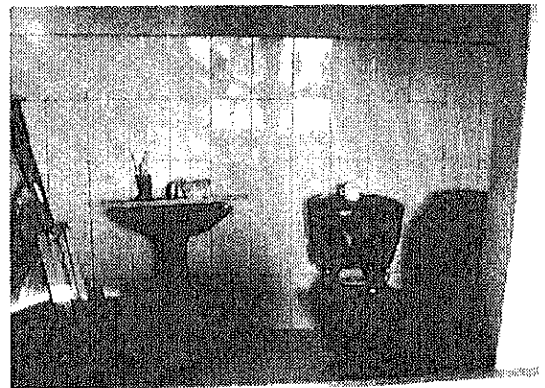
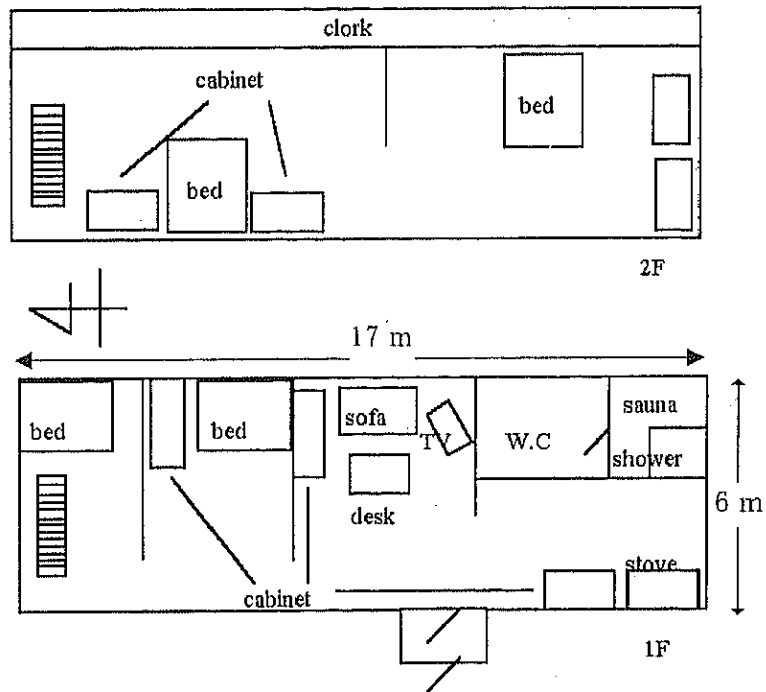
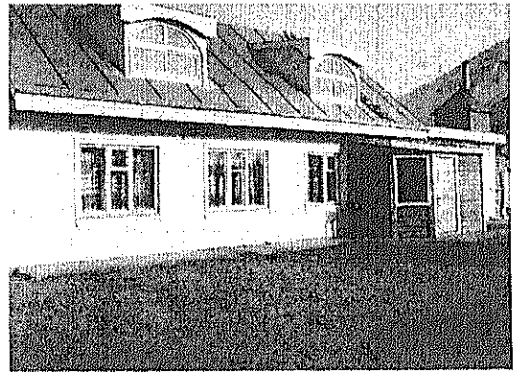
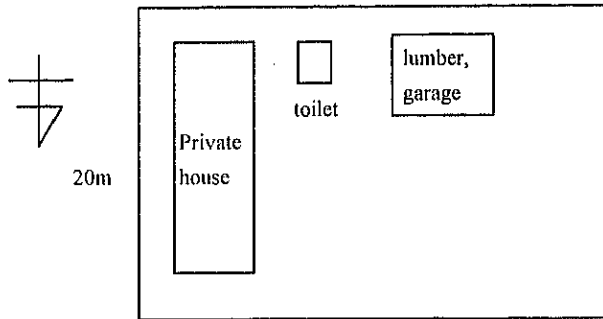
■コミュニティ

- ・近所の人をよく付き合い、人の行き来がある。地域の清掃などの共同する作業はないが、みんなで協力して実施することはできると思う。

■公園、緑

- ・ハシヤーの中に果物の木や芝をうえられれば良いと思う。

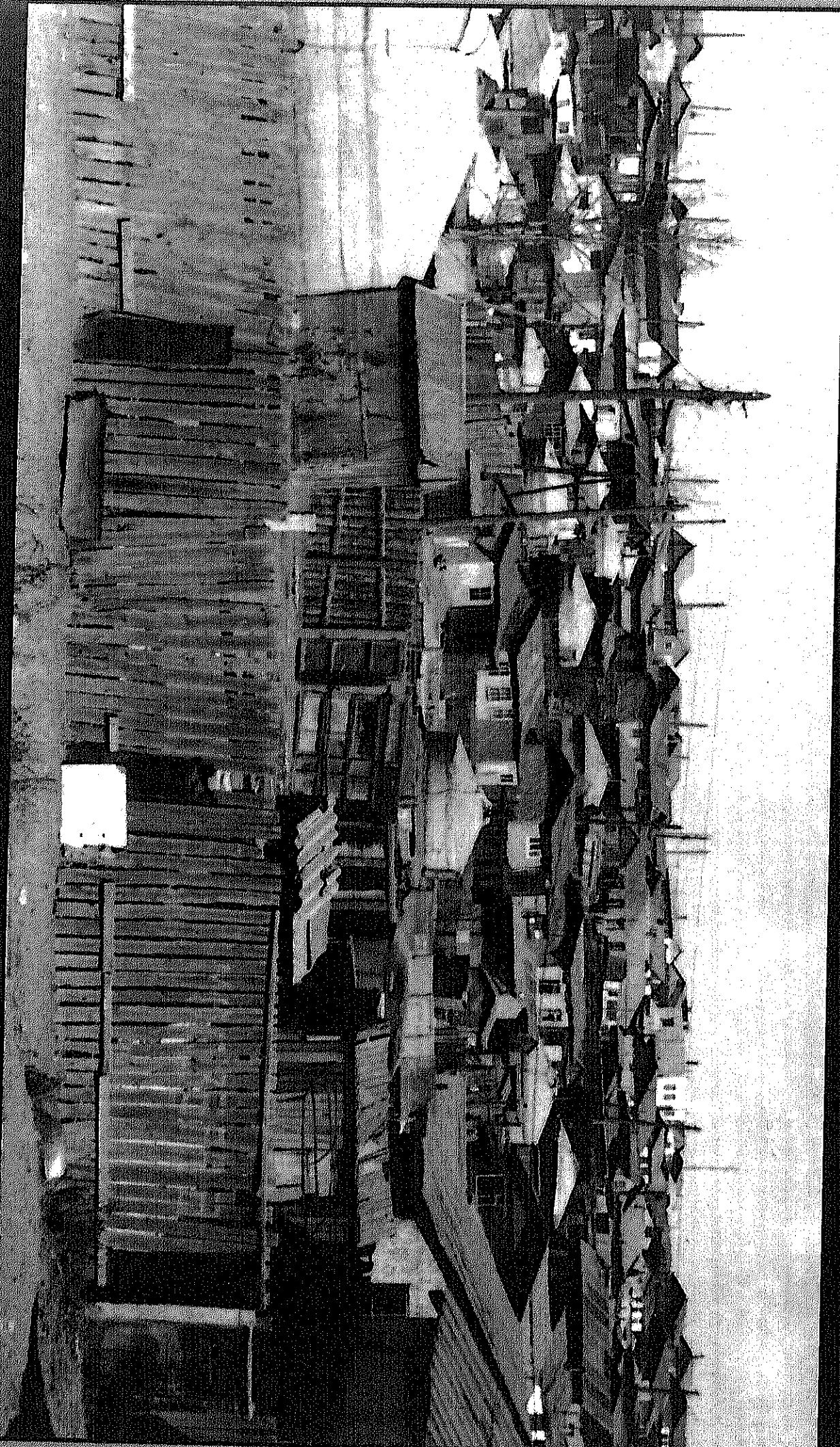
Danbadarjaa .case3 (upper class)



The Survey report
of the Study of the living environment of the Ger area
in Ulaanbaatar, Mongolia

2002year. February
Japan International Cooperation Agency
of Mongolia

Reserch / Constrution & Architecture Corporation
Printing / "BEMBI SAN" CO., LTD



The Ger Area in Ulaanbaatar, Mongolia